

「県民健康調査」健康診査 健診項目別健診実績基礎統計表等の修正について

1 修正の概要

健康診査を同一年度に2回受診した方（以下「重複受診者」）の受診結果データの集計方法について、調査年度により取り扱いが異なっていたことが判明したことから、第50回福島県「県民健康調査」検討委員会において了承された方針に基づき、検討委員会資料の修正を行った。

2 集計方法の相違の内容及び重複受診者数

(1) 相違の内容

【平成23～30年度】

重複受診者の受診結果データを2回分とも集計に含めている。

【令和元～3年度】

重複受診者の受診結果データを1回分（受診日の早い方）のみ集計に含めている。

(2) 重複受診者数（※データ利用等の非承諾者を除く）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
15歳以下	17	37	6	8	6	5	0	3	3	0	0
16歳以上	159	438	354	33	44	48	34	34	25	73	49

3 第50回「県民健康調査」検討委員会では了承された方針

平成23～30年度の受診結果データについて、1回分（受診日の早い方）のみ集計に含める方法に修正し、令和元年度以降の集計方法と統一を図る。

4 修正が必要な資料

(1) 集計方法を統一することにより受診結果データの修正が必要な資料

① 平成23～29年度 県民健康調査「健康診査」健診項目別健診実績基礎統計表

② 平成30年度 県民健康調査「健康診査」健診項目別集計結果

(2) (1)の集計結果を引用する資料等

① 平成30～令和4年度 県民健康調査「健康診査」（15歳以下）結果報告

※グラフの平成23～30年度結果データ引用箇所を修正

② 平成30～令和4年度 県民健康調査「健康診査」（16歳以上）結果報告

※グラフの平成23～30年度結果データ引用箇所を修正

③ 令和元～3年度 県民健康調査「健康診査」健診項目別集計結果

※表紙の注意書きを修正

5 修正による集計結果の差異の程度（平成23～30年度、受診者数及び平均年齢を除く検査値）

(1) 集計データの項目数 8,484件

(2) うち、差異が生じた項目数 717件 (8.45%)

(3) 差異の程度（※計算方法：「2回とも集計に含めている」－「1回分のみ集計に含めている」）

以下の項目を除き、最小ケタにて±1（小数点第1位まで表記の場合は±0.1）の差異であった。

【平成23年度】

・腹囲（16～39歳男性、85cm以上）：+0.2

- ・白血球分画（リンパ球、65歳以上女性、個数の最小値）：-53

【平成24年度】

- ・BMI（16～39歳男性、25以上）：+0.2
- ・中性脂肪（16～39歳全体、平均値）：+0.2
- ・中性脂肪（16～39歳男性、平均値）：+0.4
- ・血小板数（0～6歳男性、平均値）：-0.2
- ・白血球分画（好中球、個数、平均値）の男女別・年齢区分別の7つの項目：-2～+4
- ・白血球分画（好中球、個数、16～39歳男性、最大値）：1,511
- ・白血球分画（リンパ球、個数、平均値）の男女別・年齢区分別の3つの項目：-4～+2

【平成25年度】

- ・身長（16～39歳男性、170cm以上）：+0.2
- ・体重（16～39歳男性、70kg以上）：+0.3
- ・BMI（16～39歳男性、25以上）：+0.2
- ・中性脂肪（16～39歳男性、平均値及び150mg/dL以上）：+0.2
- ・ALT（16～39歳男性、51U/L以上）：+0.2
- ・ γ -GT（40～64歳男性、平均値）：-0.2
- ・白血球分画（好中球、個数、平均）の男女別・年齢区分別の7つの項目：-3～+2

【平成26年度】

- ・腹囲（16～39歳男性、85cm以上）：+0.4
- ・白血球分画（好中球、個数、7～15歳男性 平均値、0～6歳女性 平均値）：-2

【平成27年度】

- ・身長（16～39歳男性、170cm以上）：+0.2
- ・体重「（16～39歳男性、70kg以上）：+0.2
- ・腹囲（16～39歳男性、85cm以上）：+0.5
- ・ALT（16～39歳男性、31U/L以上）：+0.2

【平成28年度】

- ・中性脂肪（16～39歳女性、平均値）：+0.2
- ・白血球分画（好中球、個数、16～39歳男性、平均値）：-3

【平成29年度】

- ・中性脂肪（16～39歳男性、150mg/dL以上）：+0.2
- ・LDL-C（16～39歳男性、120mg/dL以上）：+0.2

【平成30年度】

- ・中性脂肪（16～39歳男性、平均値）：+0.2
- ・白血球分画（好中球、個数、40～64歳男性、平均値）：-2

6 資料間の数値の相違の訂正

資料の修正を行っていたところ、修正前の基礎統計表と結果報告の以下の項目について、同じ数値となるべきところが異なっていたことが判明したことから、基礎統計表の数値に訂正を行った。

- (1) 項目：平成28年度の白血球分画のうち、16～64歳までの好中球数、リンパ球数、単球数の各平均値（全体）

差異の程度（※計算方法：「基礎統計表」－「結果報告」）：+1～4

- (2) 項目：平成23～27年度の40歳以上のeGFR60mL/min/1.73m²未満の割合（全体）

差異の程度（※計算方法：「基礎統計表」－「結果報告」）：+0.1～1.7

7 修正・訂正前後の資料

修正前の資料については、修正する箇所を黄色に着色、6による訂正箇所は水色に着色しているが、修正・訂正後の資料については、着色していない。

また、平成23～24年度の修正後の資料については、重複受診者の2回目の受診データを除外していることに加え、重複受診者でない方からデータ削除依頼があったことにより、それぞれの年度で各2名分のデータを削除しているため、修正前の資料と比べ受診者数に重複受診者数以上の差が生じている。

8 差異の影響について

(1) 検討委員会資料への影響

差異が生じた項目における数値及びそれに基づくグラフへの影響はほとんどない。したがって、数値・グラフから読み取っている傾向に関するコメントにも影響しない。

(2) 論文への影響

論文に使用されているデータについては、平成23年度より一人1データとして統一しており、重複受診者の結果も一人1データのみ採用しているため、論文への影響は生じない。